

海岸保全施設の適切な修繕等のあり方検討委員会（第3回） 議事概要

日 時：平成27年3月 3日（火）10:00～12:00

場 所：中央合同庁舎 3号館 11階 特別会議室

出席者：横田委員長，宇多，岩波，諏訪，浅井，桐，金田，渡辺，加藤，
岡，木島，井上，眞田 各委員

1. 主な議事

- 委員長の進行のもと、事務局が資料について説明を行い、意見交換を行った。これまでの議論を踏まえとりまとめることとし、とりまとめ作業は委員長預かりとなった。

2. 主な意見等

【資料3 1.～3.】

- 海岸保全施設の被災の特徴として、経年劣化によるもののほか、波浪等の比較的大きな外力で変状が大きく進展することがあることを、基礎知識として加筆いただきたい。
- 変状連鎖図の留意点として「本資料に掲載した変状連鎖は、基本的なものを示したものであって、これ以外のものもあり得る」ということを記載いただきたい。
例えば、洗掘としている事例は、海岸の堤防等の前面の侵食により消波機能が低下し、波浪が大きくなって波力・越波パターンとなるものや、圧密沈下が生じ、越波パターンに行くというものもある。
- 「調査・分析」や「監視」については言葉のみで説明が不足しているところがあるので加筆すると良い。
- (P.2-2) (5) の一番下の5・6行は、3つの内容が1つの文章にまとめられているが、読み手にわかりやすくする観点から、分割して記載すると良い。
また、同様な観点から写真が小さくわかりづらいものはレイアウト等を工夫すると良い
- 「代表的な対策工法」として示す内容が、同じものが見受けられるが、場所ごとに特徴がある場合は平面的な情報を追加するなど書きぶりに工夫をする
と良い。

○空間的な観点は非常に重要であり、調査・分析の段階で十分検討すべきことである。それを踏まえた上で、3. の資料は部位・部材の修繕に当たって、変状連鎖の観点からまとめたものであるので、(p. 3-1) 留意点にはその旨を記載した方が良い。

また、平面的な情報の詳細や例については、4. を参考にすることができることを留意点にあわせて記載すると良い。

○副題について、「対策」とあるが、本題では「修繕等」となっている。「修繕等」と「対策」の用語の使い分けを明確にすることが必要。

○「調査・分析」についてはマニュアルでも記載が少ないため、どのような観점에서調査・分析を行うかなど加筆が必要。加筆によって更なる疑問点が発生することもあるので、高度な判断が要求される場合は専門家の意見を聴く等を加筆してもよい。

○(p. 2-1) ④の「その結果・・・」は、以降は点検や調査・分析ではなく、修繕等に係る判断の話なので、次の章に記載すべき内容。

○(p. 2-2) (2) で、Aランクの記述は、「検討を行う」で止めず、「検討を行い、必要があれば対策をしなければいけない、必要があれば適切に行う」と修正いただきたい。

○本資料はマニュアルを補完するものなので、用語はマニュアルの定義と統一する必要がある。マニュアルでは、「対策」と「修繕等」を同様な意味で扱っている。本資料は、修繕等に別の意味を与えているので、マニュアルと不整合がないように修正いただきたい。

○(p3-15)、(p3-17) ①「沈下・陥没」【a】の写真は、変状の程度を正確に伝えるため、大体のスケールがわかるようにすると良い。

○(p2-3) (8) の最後の文章は、「記録が残されていない施設も存在したことも踏まえ」とあるが、記録の必要性や記録がなかったため適切な対応がされず老朽化した施設が増えたということを加筆いただきたい。

【資料3 4.】

○(p4-5)、(p4-8) 等の平面図は、重要な情報であるため、周辺の状況等が分かるような航空写真などの鮮明な図面を使用する必要がある。

○(p4-1)は変状連鎖が1と整理されているが、変状は波返工や表法被覆工となっている。変状連鎖パターン1にはこれらの部材は出てこない。洗掘は原因としてはいいが、その後の事象が言い表せていない印象があり、管理者が十分に理解できないかもしれないため(p3-2)の変状連鎖を初心者がわかるように加筆すると良い。

○「対策時期を決定した理由」欄の内容について、工学的判断でないものは精査したほうが良い。

【全体】

○本委員会のとりまとめ成果は、3月末までに内容を固め、次年度からは使用できる予定か。年度の中頃に公表するとタイミング的に使いづらくなるので、配慮していただきたい。

○3. までは変状連鎖の観点から整理されているが、4. は施設の種類により整理されている。変状連鎖パターンを基に事例を探したい場合にはこの構成では使いづらい。一方で、変状連鎖パターンでの分類に該当しない事例があるという側面からは、対応が難しいかもしれないが、管理者が使いやすくなるよう工夫できないか検討すると良い。

【まとめ】

○本資料は変状連鎖を中心に整理されているが、必ずしも主要な変状連鎖が当てはまらないものもあり、また、平面的な位置の中で生じる変状もあることを踏まえ、留意点についてきちんと記載すること。

○マニュアルを補完する資料であるため、マニュアルで使用されている用語と整合性等に留意しつつ、マニュアルで不十分なところについては追記を検討すること。

○事例集は、ユーザーが活用しやすいよう、写真や平面図のサイズ・解像度を大きくする等を含めて、使いやすいものとなるよう工夫すること。

以 上